

道路のサービスレベル向上に向けて

開催内容

日本では、道路の絶対的な不足を前提とし、日交通量ベースの均質な道路ネットワーク整備を進めてきました。その結果、経済発展に寄与してきた一方で、時期・時間帯・方向別に偏在する交通渋滞や交通量の偏り、低い旅行速度など、整備済み区間の課題が顕在化しています。日交通量を基本とした均質な道路整備手法を再構築し、サービスレベルの観点から道路計画を考えていく「道路計画論の再構築」に関する考え方や、道路の機能に応じたサービスレベル向上に向け、偏在する渋滞に対する渋滞対策と閑散時旅行速度の向上に向けた取組についてご講演いただきます。

プログラム

日程：3月26日(水) 13:15 ~ 15:15

オンデマンド配信：4月1日~4月30日

▶ 道路機能に応じた交通性能の実現に向けて

講師：中村 英樹 名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 教授



1991年建設省入省、土木研究所主任研究員を経て、1996年名古屋大学大学院助教授、2007年同教授。一般社団法人 交通工学研究会会長、世界交通学会(WCTRS)理事・学術委員会副委員長。専門は交通工学。道路の交通容量とサービスの質、道路計画設計論、ラウンドアバウトなどに関する研究とその社会実装に携わっている。

本講演では、道路計画論の再構築に向けて、再構築の視点について概説するとともに、交通流のサービスの質の改善実現のための手法について解説する。

▶ 道路のサービスレベル向上に向けた現場実装

講師：一木 慎太郎 国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室 課長補佐



2010年国土交通省入省。在フィリピン日本国大使館二等書記官、北陸地方整備局道路計画課長、総合政策局海外プロジェクト推進課推進官等を経て、2024年4月から現職。

本講演では、国土交通省道路局が今後取り組むサービスレベル向上に向けた具体的な政策の内容について紹介する。

▶ 福井河川国道事務所で実践する道路のサービスレベル向上に向けた取組状況

講師：野村 文彦 近畿地方整備局 福井河川国道事務所長



2010年国土交通省入省。九州地方整備局道路計画第一課長、水管理・国土保全局防災課課長補佐、道路局企画課道路経済調査室課長補佐等を経て、2024年7月から現職。

本講演では、国土交通省道路局が打ち出す新たな政策を踏まえ、福井河川国道事務所で実践する取組状況について紹介する。

申し込み方法

参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。



■ 参加費

日本道路協会

会員 2,000円

非会員 4,000円

講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いいたします。

お知らせ



本セミナーは、土木学会CPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。